第１章　総合政策部

第１節　総合政策課

〔総括概要〕

総合政策課の主な分掌事務は、市政の総合的な企画調整、総合計画の進行管理、特命事業の企画調整、国際及び国内交流事業、及び各種統計調査の実施等である。

市政運営の根幹である総合計画については、全ての事務事業を対象に、栃木市行政評価制度に基づき、内部評価の後、栃木市市民会議委員による外部評価を実施し、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理を行った。また、計画的な市政運営を推進するため、令和4年度、令和5年度の実施計画を策定した。

また、平成25年度に策定した現在の総合計画が令和4年度で終了となることから、新たな総合計画の策定作業に着手した。

庁議、部長会議等については、政策、施策等の決定、全庁的な意見調整等、重要案件の審議を行う場として、定期的に開催した。

国際交流事業については、栃木市国際交流協会への委託事業として、外国人住民向けに外国語による相談窓口の開設や生活情報の提供等を行った。

国内交流事業についても、友好親善都市である北海道滝川市や、東京都中央区との交流は、感染拡大防止の観点から各種イベント等は中止されたものの、書面やインターネットにより交流を継続した。

統計関係では、学校基本調査、経済センサス―活動調査の基幹統計調査のほか、県単統計調査として毎月人口調査を実施した。

課内室である、スポーツ連携室の主な分掌事務は、市内で活動を行う各プロスポーツ団体と市民との連携の推進、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成、ハンガリー国近代五種ナショナルチームのオリンピック事前キャンプ受入、及び（仮称）渡良瀬サイクルパーク整備等である。

プロスポーツ連携事業については、市内で活動を行う各プロスポーツ団体と連携し、スポーツを通じた地域の活性化・健康づくりの推進を図るために締結した連携協定の実践のほか、各スポーツ団体の市内活動拠点整備に向けて、関係機関や地元等の調整に努めた。

また、プロスポーツチームの試合や練習等を見たり、選手等と触れ合ったりすることで、市民がスポーツの楽しさを知り、スポーツを行う動機づけとなることを目指して設立された栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”を運営し、市内で活動する栃木シティフットボールクラブや栃木ゴールデンブレーブス、宇都宮ブリッツェンと市民との架け橋となるべく努めた。

東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により大会が1年延期となったことを受け、ハンガリー近代五種ナショナルチームの本市でのキャンプ実施の受入を行った。

自転車に関することについては、藤岡渡良瀬運動公園内に、（仮称）渡良瀬サイ

クルパークの整備事業として、自転車専用コース、パンプトラック、トイレ、複合遊具、駐車場の整備を行った。また、自転車の振興及びサイクリングロードについて、関係団体と連携して推進に努めた。

政策総務係

1　国際交流関係

(1)　友好・姉妹都市との交流

ア　中国浙江省金華市

メール等オンラインによる交流の継続

イ　米国インディアナ州エバンズビル市

姉妹都市留学プログラムの参加者募集の継続。

(2)　外国人住民支援事業

ア　栃木市国際交流協会及び市役所において、外国人相談窓口の開設、外国語による生活情報の提供を行った。

また、多くの言語に対応するため、多言語翻訳機を活用したほか、対面での接触を避けるため、オンラインで相談できる機材を栃木市国際交流協会に設置した。

・相談内容内訳

相談内容	件数(件)
通訳・翻訳依頼	176
税金・年金・保険	204
学校教育	65
ビザ・在留資格・帰化	109
福祉・医療費・生活費	116
その他	1,789
合　　計	2,459

イ　多言語情報コーナー

広報とちぎの一部を抜粋し、翻訳したものを発行した。また、ＦＭくららにおいて、多言語による情報の提供を行った。（毎月1回）

・対応言語：7か国語（英語、中国語、スペイン語、フィリピン語、ネパール語、ベトナム語、シンハラ語）

2　国内交流関係

(1)　北海道滝川市

友好親善都市である滝川市と書面等による交流を継続した。

ア　2021たきかわ菜の花まつり（新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

イ　とちぎ秋まつり（新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

(2)　東京都中央区

東京都中央区と書面による交流を継続した。なお、中央区との交流は、平成14年度

に本市の山車が日本橋創架400年記念パレードへ参加したことを契機としている。

ア　第31回中央区大江戸まつり盆おどり大会（新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

3　両毛線整備促進期成同盟会（高崎市、前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、足利市、佐野市、栃木市、小山市）

両毛線の施設整備等の促進を図るため、両毛線整備促進期成同盟会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所
6月 4日（金）	幹事会	文書による承認
8月 2日（月）	総会	文書による承認
11月18日（木）	要望活動	文書による実施
11月30日（火）	実施事業アンケート	文書による実施
2月	チラシ配布	各市町内中学3年生に配布

4　東武日光・鬼怒川線沿線活性化連絡協議会（栃木市、鹿沼市、日光市）

東武日光・鬼怒川線沿線自治体の連携と交流を深め、東武鉄道を利用した沿線自治体の地域振興を図った。

5　東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会（結城市、筑西市、足利市、栃木市、佐野市、小山市、真岡市、下野市）

小山駅に接続する宇都宮線、両毛線、水戸線沿線地域の発展と地域住民の利便性の向上を図るため、東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所	備考
6月17日（木）	幹事会	文書による承認	
9月10日（金）	総会	文書による承認	
12月24日（金）	要望活動	文書による実施	

6　北関東・新潟地域連携軸推進協議会（新潟市、加茂市、長岡市、柏崎市、湯沢町、沼田市、渋川市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、玉村町、みなかみ町、足利市、佐野市、小山市、栃木市、水戸市、茨城町、ひたちなか市）

北関東及び新潟地域との連携を図るため、北関東・新潟地域連携軸推進協議会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所	備考
5月11日（火）	総会	文書による承認	
9月 8日（水）	第1回担当課長会議	文書による承認	
3月 4日（金）	第2回担当課長会議	文書による承認	

7　関東どまんなかサミット会議（古河市、加須市、野木町、板倉町、栃木市、小山市）

茨城県、埼玉県、群馬県及び栃木県の県境に位置する隣接地方自治体が相互に協力して、魅力ある圏域の形成を目指す関東どまんなかサミット会議の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所	備考
7月 9日（金）	第1回幹事会	古河市役所	
10月22日（金）	サミット会議 （小山市災害対策本部見学）	小山市役所	
11月22日（月）	第2回幹事会	古河市役所	
2月 2日（水）	第3回幹事会	文書による承認	

政策調整係

1　栃木市総合計画

本市の自治の最高規範である「栃木市自治基本条例」の規定に基づき、市の最上位計画としての総合計画を策定し、これに基づき総合的かつ計画的な行政運営を行っている。

総合計画は、本市の10年後の目指すべき将来像を定め、その実現を図っていく基本構想と、5年間の部門ごとの現状と課題、施策の方向性を取りまとめた、後期基本計画からなる、令和4年度までの計画であり、市の将来都市像として「“自然”“歴史”“文化”が息づき“みんな”が笑顔のあったか栃木市」を定めている。

また、総合計画の進捗管理は、栃木市行政評価制度により行い、栃木市市民会議委員による外部評価も併せて実施した。実施計画については、令和4年度・令和5年度分を策定し、実施する事務事業を明らかにした。

2　庁議

市長が主宰し、市政の基本方針等の審議または協議を行った。

・開催回数　25回

・内　　容　審議事項　　96件
　　報告事項　　24件
　　連絡事項　　5件

3　部長会議

副市長が主宰し、重要な事業等の審議または協議を行った。

・開催回数　10回

・内　　容　審議事項　　48件
　　報告事項　　4件
　　連絡事項　　0件

4　幹事課長会議

総合政策部長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

・開催回数　11回

・内　　容　審議事項　　19件

　　報告事項　　12件

　　連絡事項　　0件

5　土地利用対策に関すること

土地利用の諸問題を、総合的に検討、調整し、本市の総合的かつ計画的な土地利用を図るため、栃木市土地利用対策委員会において協議を行った。

(1)　廃棄物処理施設設置等について

・文書照会：2件

(2)　(仮称)第2次総合計画における土地利用構想について

・会議開催：1回

6　土地開発基金に関すること

(1)　基金の額　（単位：円）

令和2年度末現在高	令和3年度中増減高	令和3年度末現在高
110,629,513	△110,629,513	0

(2)　運用の状況　（単位：円）

区　分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
貸付金	－	－	－
現　金	110,629,513	△110,629,513	0
計	110,629,513	△110,629,513	0

栃木市公共施設整備等基金を新設したことに伴い栃木市土地開発基金を廃止したことから、残高全額を新設の基金に積み立てした。

7　栃木市ふるさと応援寄附に関すること

市ホームページ及びふるさと納税ポータルサイトへの情報掲載や新聞広告などを通して、ＰＲに努めた。

内　容	数　量
寄附件数	38,202件
寄附金額	819,723,000円
返礼品数	900品

8　栃木市企業版ふるさと納税に関すること

令和２年11月６日に地域再生計画の認定を受け、寄附の受付を開始した。また、市ホームページに情報を掲載し、ＰＲに努めた。

内　容	数　量
寄附件数	6件
寄附金額	19,000,000円※

※寄付金額非公開希望分は除く

9　栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関すること

平成27年度に策定した「栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び令和2年3月に策定した「第2期栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生推進交付金を活用して、観光魅力アップ事業、空き家・空き店舗・空き蔵を活用した重伝建地区活性化プロジェクトを実施した。

また、栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会を開催して、総合戦略に掲げた各事業の進捗状況や地方創生関連交付金を活用した事業に対する意見や評価を聴取した。

10　定住自立圏構想に関すること

定住自立圏構想は、平成27年3月に「中心市宣言」を行い、平成27年度6月議会において「定住自立圏形成方針」を定めた後、平成28年3月の定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催等を経て、平成28年8月に「栃木市定住自立圏共生ビジョン」を策定している。

また、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理を行っていくための成果指標（ＫＰＩ）を設定するため、平成31年3月に「栃木市定住自立圏共生ビジョン」を改定している。

令和2年度においては、計画期間の最終年度であったことから、令和3年3月に「第2期栃木市定住自立圏共生ビジョン」を策定している。

11　小平浪平翁顕彰に関すること

平成30年10月5日に栃木市出身で株式会社日立製作所の創業者、小平浪平氏の生家の土地、建物が市に寄贈された。また、同氏の功績を顕彰するための事業の財源に充てることを目的として、栃木商工会議所より1,000万円の寄附があり、これを原資として小平浪平顕彰基金を設置した。

(1)　基金の額　（単位：円）

令和2年度末現在高	令和3年度中増減高	令和3年度末現在高
28,726,419	△2,036,000	26,690,419

(2)　運用の状況　（単位：円）

種　別	金　額
ふるさと応援寄付	2,964,000

12　あわせて100歳ヒアリング事業に関すること

持続可能なまちづくりにつなげていくため、戦前の環境に対する負荷の少ない暮らしを体験している、現在90歳前後の方を対象としてヒアリングを実施した。

・件　　数　12件

13　蔵の街市民ギャラリーに関すること

令和3年3月に閉館した蔵の街美術館を、総合政策課に所管替えし、令和3年11月1日に蔵の街市民ギャラリーとしてリニューアルオープンした。内部にはギャラリーの展示室として3部屋、チャレンジショップのブースとして1部屋を設置した。

利用状況

種　別	利用件数	利用日数	使用料(円)
ギャラリー	5件	45日	78,000
チャレンジショップ	1件	6か月	60,000

14　（仮称）第2次栃木市総合計画策定に関すること

平成25年度に策定した現在の総合計画が令和4年度で終了となることから、本市の自治基本条例に基づき総合的かつ計画的な行政運営を図るため、本年度から令和4年度にかけて新たな総合計画を策定する。本年度については、市民アンケート調査等の実施や総合計画策定懇談会を開催し、総合計画基本構想骨子を策定した。

15　マイナポイント等設定支援事業に関すること

マイナンバーカードの普及を促進するとともに、消費喚起や生活の質の向上につなげるためにマイナンバーカードを活用して幅広いサービスや商品の購入などに利用できるマイナポイントの付与等に係る支援業務を行った。

(1)　マイナポイント等支援窓口

・市民生活課（12月末まで）

・マイナポイント等設定支援特設窓口（1月から）

・各地域づくり推進課市民係窓口（通年）

(2)　マイナポイント等支援件数　　（単位：件）

月	支援件数	備　考
4月	192	
5月	146	
6月	184	
7月	72	
8月	75	
9月	61	
10月	21	
11月	68	
12月	50	
1月	69	
2月	113	
3月	437	業務委託開始

統計係

1　基幹統計調査

(1)　学校基本調査（文部科学省）

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項（学校数、学級数、在学者数、教職員数、施設等）を明らかにするため、調査を実施した。

・調査期日　5月1日

・調査校

区　分	対象数
小学校	29校
中学校	15校
幼稚園	5園
幼保連携型認定こども園	13園
専修学校	3校
各種学校	3校※

※廃止1校含む

(2)　経済センサス―活動調査（総務省及び経済産業省）

我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の状態を全国的及び地域別に明らかにするとともに、各種統計調査実施のための事業所及び企業の母集団名簿を得ることを目的として、調査を行った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調査員はマスク着用とし、回答方法はインターネット及び郵送とした。

・調査期日　6月1日

・調査対象　全ての事業所

・調査区数　238調査区

・調査員　　82人

・指導員　　7人

2　県単統計調査

(1)　栃木県毎月人口調査

国勢調査の実施間における県下の常住人口と世帯数を推計し、その動向を明らかにするための調査で、市民生活課の資料を基に、本市における毎月1日から末日までの出生・死亡・転入・転出者数及び世帯の増減数を加減し推計した人口調査票を作成し、報告した。

3　その他の事業

(1)　統計調査員確保対策事業

指定統計調査を円滑に行うため、県の指導の下、統計調査員の募集、登録を行った。また、統計調査員の各種表彰の推薦を行った。

・統計調査員数　316人

(2)　市統計データ作成事業

市政の現状とその推移を明らかにするため、市に関する基本的な統計資料を収集し、ホームページ上に「令和3年版統計データ」として掲載した。

各種統計調査の結果から栃木市の結果報告書として「栃木市の工業」、「令和2年国勢調査の概要」及び「栃木市の農林業」を作成し、ホームページ上に掲載した。

(3)　令和4年版県民手帳の周知

県統計協会からの依頼を受け、一部市内コンビニエンスストア及び一部書店にて販売される旨を周知した。

スポーツ連携室　スポーツ連携係

1　プロスポーツ連携関係

(1)　各プロ及びプロに準じるスポーツ団体との連携

市内で活動を行う栃木シティフットボールクラブ、栃木ゴールデンブレーブス（エイジェック硬式野球部、エイジェック硬式女子野球部を含む）、宇都宮ブリッツェンと連携協定に定めた事項の推進、連携事業の構築を行った。

ア　3団体共通

試合情報や結果について、栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”アカウントによるSNS上での情報発信や、市広報誌へのチーム紹介記事の掲載を行った。

イ　栃木シティフットボールクラブ関係

岩舟総合運動公園内に設置されたCITY FOOTBALL STATIONを活用した取り組みを実施した。

・JFAファミリーフットサルフェスティバル2021栃木
・岩舟青少年育成会ウォークラリー
・令和4年第101回全国高校ラグビー大会決勝「國學院栃木高校 対 東海大大阪仰星高校」のパブリックビューイング

ウ　栃木ゴールデンブレーブス関係

試合情報や結果について、栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”アカウントによるSNS上での情報発信や、市広報誌へのチーム紹介記事の掲載を行った。

エ　宇都宮ブリッツェン関係

藤岡渡良瀬運動公園で整備を行った渡良瀬サイクルパークの自転車専用コース設定について、サイクルレースも開催できるコースとするなど、今後の利用について様々な検討を共同で実施した。

(2)　栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”関係

プロスポーツチームのスポンサーやファンクラブ等の既存の応援形態とは別に、市民が気軽に負担なくチームの応援の一歩を踏み出すための受け皿として栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”を運営した。

ア　Strawberry Hearts 会員

チームごとに、blue（栃木シティFC）、gold（栃木ゴールデンブレーブス）、red

（宇都宮ブリッツェン）の3種類がある。

・年 会 費　無料

・特　　典　メンバー缶バッジの交付

・会 員 数　206名（延べ人数：490名）

イ　Strawberry Hearts 合同イベント関係

メンバーの方へ感謝の気持ちを込めて、また、より多くの人にチームを知ってもらうため、3チーム合同イベントを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせた。

(3)　渡良瀬サイクルパーク整備関係

国の拠点整備交付金を活用し、藤岡渡良瀬運動公園に本格的に自転車を楽しめる専用コース、ＢＭＸやマウンテンバイク等が楽しめるパンプトラックなど、サイクリング環境の整備を行った。

・自転車専用コース（アウトコース約1.5㎞、インコース約0.9㎞、外周コース約1.1㎞、コース幅員8ｍ（一部区間6ｍ））

・イベント広場、パンプトラック（約80ｍ、幅1.2ｍ）

・トイレ（男女用各1基）

・複合遊具（1基）

・駐車場（206台）

2　東京2020オリンピック・パラリンピック関係

(1)　オリンピック

ア　ホストタウン関係

東京2020オリンピックの事前キャンプとして、、ハンガリー国近代五種ナショナルチーム選手団21人の受入対応を行った。

・期　　間　7月26日（月）から8月3日（火）までの9日間

・練習会場　市総合運動公園（陸上競技場、体育館、プール）、壬生乗馬クラブ

・宿 泊 先　ホテルサンルート栃木

・内　　容　宿泊先と練習会場の手配と管理、
宿泊先と練習会場等の移動手段（バス）の手配と管理
新型コロナウイルスによるPCR検査対応
関係機関（ハンガリー大使館、栃木県、日本近代五種協会、オリンピック関係団体等）との調整と連携

イ　オリンピックの気運醸成

ハンガリー国近代五種ナショナルチーム選手団受入に合わせ、市民に選手への応援メッセージを募集し、選手宿泊先に掲出した。

・期　　間　7月20日（火）から30日（金）まで

・応 募 数　約100通

(2)　パラリンピック

市出身で東京2020パラリンピックの車いすテニスに出場する大谷桃子選手の周知、応援を行った。

・大谷桃子選手出場の周知を図るため栃木駅前と栃木警察署跡地に横断幕を設置した。（8月26日（木）から9月6日（月）まで）
・大谷桃子選手が車いすテニスダブルスで銅メダル獲得を受け、栃木駅前と栃木警察署跡地に横断幕を設置した。（9月7日（火）から9月17日（金）まで）